

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	協定校カリフォルニア大学バークレー校との交流刷新と国際教育への還元 ——次世代協働授業の構築に向けて				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	松森 奈津子
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤田 敬人
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	松森 奈津子

講演題目	
協定校カリフォルニア大学バークレー校との交流刷新と国際教育への還元 ——次世代協働授業の構築に向けて	
研究の目的、成果及び今後の展望	
【目的】 本学とカリフォルニア大学バークレー校は、2007年に大学間交流協定を結び、昨年3回目の協定更新を迎えた。この20年近くにわたる歳月の間に、両校ともに所属教員の世代交代、学生・院生の在籍状況や研究状況の変化に直面し、とりわけ2024年度はこれまでバークレー側で交流の中心的役割を担ってきた教員が交流の第一線を退くという節目を迎えた。 本研究の目的は、こうした時代の変化に対応できる新たな交流体制を構築するために、若手教職員、院生、学生による協働作業の下、両校の交流の刷新を図り、その試みを国際教育の形で院生・学生や一般市民に還元することにある。 【成果】 本研究課題遂行過程では、まず、代表者がこれまで両校の交流を担ってきた教職員と連携し、新たな国際共同研究を企画して若い世代を中心とした協働の場を創ることを試みた。あわせて、分担者がこれまで交流のなかったバークレー校の教員にコンタクトを取り、新たな国際交流の開拓を試みた。ついで、上記の試みを、代表者の授業（2年生以上を対象とする「政治思想史」）におけるアクティヴ・ラーニングの一環に取り入れ、学生の主体的な参加を得ながら、カリフォルニア州やバークレー校と静岡県や本校との関係を歴史的、文化的背景とともに学ぶ機会を提供した。 こうした本研究課題の成果は、本学院生、学生、教職員のほか、広く一般市民を対象とした下記の公開セミナーとして公にし、社会への還元を試みた。 「スペイン帝国におけるカリフォルニアの地政学的重要性―協定校カリフォルニア大学バークレー校における資料調査・学術交流をふまえて」 科研費・教員特別研究推進費公開セミナー「イベリア・スコラ学とアメリカ、アジア」 2024年11月18日 https://matsumori.memento-mori.casa/openseminar/open-seminar-6/ 【今後の展望】 今年度は、本校とバークレー校との間に次世代の協働体制の基盤となる国際共同研究を構築する土台作りを行った。具体的には、研究分担者に若手教員を複数含めた研究体制を構築し、バークレー校の教職員の助力も得ながら、学生、院生とともに今後の両校の継続的な交流の担い手を育む基礎作りを行った。来年度以降は、こうした土台を足場として、国際共同研究をさらに深化させ、国際社会や地域社会と学生が直接的な接点をもつ機会をより積極的に提供していく予定である。	